

平成 25 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

伝統に培われた実績とアカデミックな校風を背景に文武両道・授業第一主義を貫き、次代のリーダーの育成をめざす。

- 1 高い志とチャレンジ精神で臨み、進路目標を達成する力を育む。
- 2 知・心（徳）・体にバランスの取れた豊かな人間性を育む。
- 3 広い視野と豊かな知識を持ち、次代のリーダーとしての資質を育む。

2 中期的目標

1 高い学力の育成

(1) 授業の充実

生徒による授業評価と保護者による授業公開のアンケート結果を十分に活用するとともに、教員相互の授業見学を実施して、授業力の向上を図る。さらに ICT を活用した授業の実施に努める。

※生徒のアンケートにおける全体の満足度を平成 25 年度 85%以上、平成 27 年度には 90%以上に。保護者による授業公開アンケートにおける肯定的意見を 100%に。生徒のアンケートにおける「ICT を活用している」という評価 70%以上、平成 27 年度には 80%以上に。（平成 24 年度授業の満足度 78%、授業公開 98%、ICT 活用の評価 62%）

(2) 自主的な学習とバランスの取れた学習の定着

生徒が自主的なバランスの良い学習をしっかりと行えるよう、適切な指示・アドバイスに努める。

※生徒の平日の自主的な学習の時間が 2 時間以上の生徒が平成 25 年度 60%以上、平成 27 年度には 80%以上に。また、3 時間以上の生徒が平成 25 年度 40%以上、平成 27 年度には 60%以上に。（平成 24 年度平日の自主的な学習 2 時間以上 46%、3 時間以上 32%）

(3) 個々の学習状況に応じた学習指導の実践

生徒が理解度や到達度に応じた学習ができるよう、土曜講座や高大連携の充実・活用を図る。

※土曜講座に対する満足度を平成 25 年度は 70%以上、平成 27 年度には 80%以上に。高大連携への満足度を平成 25 年度以降 90%以上に。（平成 24 年度土曜講座 66%、高大連携 90%）

2 豊かな人間性の育成

(1) 学校行事や部活動を通じた人間性の育成

学校行事や部活動を通して思い遣りや自主性などが育めるよう、より一層の充実を図る。

※学校行事に対する生徒の満足度が平成 25 年度以降 90%以上を維持。（平成 24 年度 90%）

(2) 自己発見・自己実現に向けたキャリア教育の充実

「職業ガイダンス」や「学部・学科ガイダンス」、さらには「知的世界への冒険」など、卒業生の支援のもとキャリア教育の充実を図る。

※「職業ガイダンス」の満足度は平成 25 年度以降 90%以上を維持。（平成 24 年度 94%）

「学部・学科ガイダンス」の満足度は平成 25 年度以降 90%以上を維持。（平成 24 年度 99%）

「知的世界への冒険」の満足度は平成 25 年度 85%以上に、平成 27 年度には 90%以上に。（平成 24 年度 79%）

(3) 教育相談活動の充実

生徒や保護者に対するきめ細かな教育相談ができるよう、情報の共有や体制づくりに努める。

3 次代のリーダーとしての資質の育成

(1) 議論する力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力の育成

授業を中心とする様々な学習活動の中で、自分の考えをまとめ表現できる力、相手の主張を理解し自分の意見を交えしっかりと議論ができる力の育成に努める。

※生徒アンケートにおける肯定的評価が平成 25 年度 70%以上に、平成 27 年度には 80%以上に。（平成 24 年度 61%）

4 教職員の学校運営に係る体制づくり

(1) 情報や課題を共有し、迅速に対応できる体制づくり

(2) 学校運営の中心となる人材の育成

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

| 学校教育自己診断の結果と分析 [平成 25 年 12 月実施分] | 学校協議会からの意見 |
|--|---|
| <p>○生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校へ行くのが楽しい（肯定 88%） ・他の学校にない特色ある教育活動が行われている（肯定 73%） ・授業などで ICT を活用している（肯定 85%） <p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は教育活動を見学する機会を提供している（肯定 92%） ・子どもは学校において充実した日常生活をおくっている（肯定 89%） <p>○教職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科として指導方法や学習携帯の工夫・改善を行っている（肯定 88%） ・生徒の問題行動が起きた時、組織的に対応できる（肯定 50%） <p>【全体】</p> <p>授業における ICT 活用度向上の取り組みの成果が出ている。前年度に比べて肯定率が 10%以上上がった項目が、教職員アンケートに関しては 55 問中 30 問、保護者アンケートにおいては 27 問中 12 問あった。教職員の努力が保護者に評価されたと考えられる。</p> | <p>【第 1 回（6 月 20 日）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業見学した課題研究の授業は、理科系・文科系ともに充実したもので、とても興味深かった。今後とも一層充実させてほしい。 ・学区撤廃による通学区域の広域化がクラブ活動等に影響しないかが心配である。 ・大学も高校も改革を求められる時代であるが、北野高校に求められているものをしっかりと理解し、伝統を守りながら改革を進めてほしい。 <p>【第 2 回（10 月 30 日）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハワイ大学への語学研修、TOEFL 講座等の新しい取り組みは素晴らしい。成果をしっかりとまとめながら継続してほしい。 ・危機管理体制の充実等、一層進めてほしい。 ・生活アンケートの結果については、しっかりと具体的にフィードバックする必要がある。 <p>【第 3 回（2 月 5 日）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな面で取り組みの成果が出たことは評価できる。 ・文理学科と普通科はこれからも切磋琢磨していく環境を用意してほしい。 |

3 本年度の取組内容及び自己評価

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組計画・内容 | 評価指標 | 自己評価 |
|-----------------------|---|---|---|--|
| 1 高い学力の育成 | <p>(1) 個々の教員の授業力の向上と教員の連携による授業の充実</p> <p>(2) 生徒の自主的な学習とバランスの取れた学習の定着</p> <p>(3) 生徒の到達度の正確な把握と個々の学習状況に応じた学習指導の実践</p> | <p>ア 生徒による授業評価の結果と、保護者による授業公開アンケート結果を十分に活用する。</p> <p>イ 教員相互の授業見学を全員で行い、さらなる授業改善を図る。</p> <p>ウ 電子黒板など ICT を活用した授業の実施に努める。</p> <p>エ 授業における自主的学習への適切な指示・アドバイスと、教科バランスのとれた学習についてのアドバイスを行う。</p> <p>オ 土曜講座の内容をさらに充実させる。</p> <p>カ 校内の学力テストや模擬試験、校外の模擬試験などを活用し、生徒の学力の伸びを正確に把握する。</p> <p>キ 大学におけるセミナー等への参加など、高大連携をより一層推進する。</p> | <p>ア 生徒のアンケートにおける全体の満足度 85%以上。(平成 24 年度 78%)</p> <p>保護者による授業公開アンケートにおける肯定的意見 100%。(平成 24 年度 98%)</p> <p>イ 教員による授業見学(校内外)の回数が全員 4 回以上。(平成 24 年度 4 回以上が 52%)</p> <p>ウ 生徒アンケートにおける「ICT を活用している」という評価が 70%以上。(平成 24 年度 62%)</p> <p>エ 生徒の平日の自主的学習の時間が 2 時間以上 60%以上、3 時間以上 40%以上。(平成 24 年度平日の自主的学習 2 時間以上 46%、3 時間以上 32%)</p> <p>オ 生徒アンケートにおける満足度 70%以上。(平成 24 年度 66%)</p> <p>カ 学校教育自己診断における達成度 80%以上。(新規)</p> <p>キ 高大連携の満足度 90%以上。(平成 24 年度 90%)</p> | <p>ア 毎年 10 月に実施する生活アンケートによると、授業満足度は昨年 78%、今年度は 79.9% となっており、わずかながらアップしたが、有意な差とは言い難い。次年度は他校とも連携して授業改善の方策を考え実施する予定である。(△)</p> <p>イ 教員による授業見学(校内外)の回数が 4 回以上のものは 48%程度に減少したが、「学校内で他の教員の授業を見学する機会がある」の肯定が昨年度 66%から、今年度 78%にアップしている。この結果の分析をしっかりと行い、次年度の改革につなげる。(△)</p> <p>ウ 肯定的評価が 85%となり、目標値を達成できた。今後は内容の充実をはかる。(◎)</p> <p>エ 今年度平日の自主的学習時間 2 時間以上 68.9%、3 時間以上 48.7%と増加している。一層の仕掛けを考えていく。(○)</p> <p>オ 土曜講座の満足度が 41%に減少した。土曜講座の内容の吟味も必要だが、その他の取り組みの土曜実施との関係も考えて、再度土曜講座の在り方を検討したい。(△)</p> <p>カ 達成度は 76%であるが、最終的な進路決定状況と合わせて考える必要がある。(○)</p> <p>キ セミナーへ参加した生徒の満足度は 100%であった。今後もこの状況を維持するよう取り組みたい。(○)</p> |
| 2 豊かな人間性の育成 | <p>(1) 学校行事や部活動のさらなる充実</p> <p>(2) 自己発見・自己実現に向けたキャリア教育の充実</p> <p>(3) 異文化理解教育の充実</p> <p>(4) 教育相談活動の充実</p> <p>(5) 校内美化・清掃活動の充実</p> | <p>ア 学校行事や部活動を通じ生徒の自主性が育めるよう、在り方を議論するとともに、活動内容の一層の充実を図る。また、全員の生徒が参加できるように行事の日程を設定する。</p> <p>イ 「職業ガイダンス」や「学部・学科ガイダンス」、さらには「知的世界への冒険」も含め、内容の一層の充実に努める。</p> <p>ウ ハワイや台湾など、海外の学校との新たな交流を行う。</p> <p>エ カウンセラーや相談係との情報の共有に努めるとともに、研修を適宜実施する。</p> <p>オ 創立 140 周年記念事業とも併せて、トイレの改修などの環境整備を進めるとともに、清掃活動の充実を図る。</p> | <p>ア 学校行事に対する生徒の満足度 90%以上。(平成 24 年度 90%)</p> <p>イ 「職業ガイダンス」の満足度 90%以上。(平成 24 年度 94%)</p> <p>「学部・学科ガイダンス」の満足度 90%以上。(平成 24 年度 99%)</p> <p>「知的世界への冒険」の満足度 85%以上。(平成 24 年度 79%)</p> <p>ウ 参加者の満足度 100%。(平成 24 年度 100%)</p> <p>エ 学校教育自己診断における達成度 80%。(新規)</p> <p>オ 学校教育自己診断における達成度 80%。(新規)</p> | <p>ア 生徒の満足度は 90%であり、前年度と同じであった。(○)</p> <p>イ 「職業ガイダンス」の満足度は 94%。「学部・学科ガイダンス」の満足度は 88%。「知的世界への冒険」の満足度は 84%。全体として、目標は達成できた。今後とも一層充実させていきたい。(○)</p> <p>ウ 参加者の満足度は 100% (○)</p> <p>エ 達成度は 71%であり、目標は達成できなかったが、体制づくりは進んでおり、引き続き取り組んでいく。(△)</p> <p>オ 達成度は 75%で、目標値は達成できなかったが、140 周年記念事業や P T A の積極的な活動が企画実行され、全体の環境整備が図られた。(○)</p> |
| 3 次代のリーダーとしての資質の育成 | <p>(1) 議論する力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力の育成</p> | <p>ア 「課題研究」や「情報」に係る授業におけるグループ学習(討議・発表)など、様々な学習活動の中で、自分の考えをまとめ表現できる力、相手の主張を理解し自分の意見を交えしっかりと議論ができる力の育成を図る。</p> | <p>ア 学校教育自己診断における「自分の考えをまとめたり、発表する機会がよくある」という評価が 70%以上。(平成 24 年度 61%)</p> | <p>ア 肯定が 60%で大きな変化がなかった。今後も引き続き取り組んでいく。(△)</p> |
| 4 教職員の体制づくり | <p>(1) 情報や課題を共有し、迅速に対応できる体制づくり</p> | <p>ア 生徒の学習状況や健康管理に係る情報や課題を共有し、より良い方向に確実に進めるための体制づくりを行う。</p> <p>イ 教職員の危機管理意識を高めるとともに、適切かつ迅速に対応できる体制づくりに努める。</p> <p>ウ 保護者メール等の活用により、保護者への情報発信が確実にできる体制づくりに努める。</p> | <p>ア・イ 学校教育自己診断における肯定的評価 70%以上。(平成 24 年度 33%)</p> <p>ウ 学校教育自己診断における達成度 80%以上。(新規)</p> | <p>ア・イ 「生徒の問題行動がおきた時、組織的に対応できている」という評価は、昨年度 33%、今年度 50%で若干アップしたが、目標値には達しなかった。現在さらなる仕組みづくりを進めているので、次年度につなげていく。(△)</p> <p>ウ 達成度は 67%で目標値は達成できなかったが、前年度に比べて肯定が 29%アップした。取り組みの成果が出たと考える。引き続き一層の努力をしていく。(○)</p> |